

令和6年度（2024年度）熊本県いじめ問題等対策連絡協議会記録

期 日：令和6年（2024年）5月27日（月）

時 間：14：00～16：30

場 所：防災センター201会議室

協議 ア 本県におけるいじめ問題の状況等について（説明）

「令和5年度心のアンケート」

説明：志賀指導主事（県教委）、吉里総合支援課長（市教委）

協議 イ 今後の関係機関・団体の連携の在り方について（情報交換・協議）

<<各団体・機関の取組>>

関係21団体からの取組説明（各団体の出席者）

県が行ういじめ防止等の対策のための施策等の説明（荒木参事）

【情報交換】

発言者	発言内容
熊本県教育委員会 重岡局長	・SNSに関係するいじめ事案や生徒指導上の問題が発生している。PTAと連携して子どもを指導していくことについてご意見を伺いたい。
熊本県PTA連合会 田中会長	・小中学校は、問題が発生した場合は、各自治体の教育委員会に相談する。子どものいじめに対して、保護者の意見を聞く際にPTAが中立の立場で双方の意見を聞き、学校への指導をお願いすることもある。
熊本県公立高等学校PTA連合会 浅見会長	・一方の意見だけで対応してしまうと問題になることがあるため、いじめととらえるかを判断するときは、両方の保護者の意見を聞き取ることが大切である。発言の際には、受け取り方が異なるので、相手の立場に十分配慮をして発言を行う。
熊本県PTA連合会 田中会長	・県内のコミュニティ・スクールの小中学校の現状について伺いたい。 ・3件の緊急支援の状況について具体的に伺いたい。 ・重大事態について具体的に伺いたい。
社会教育課 福永課長	・熊本市は含まれていないが市町村単位では、98%、学校単位では、約99%が設置できている。
学校安全・安心推進課 荒木参事	・緊急支援の学校名はお答えできないが、学校の対応について、管理職に助言を行うために専門家を派遣した。 ・ひのくに高等支援学校、大津高校、東稜高校で調査委員会が立ち上がっており対応中である。
熊本県PTA連合会 田中会長	・熊本県は、コミュニティ・スクールの設置率が全国的にも高く、地域での見守りができていると思うが、私立高校でいじめ等の問題が発生した場合の対応はどのようになっているのか。
私学振興課 松村課長	・学校で調査を行い、私学振興課が助言を行う形で関与している状況である。

熊本学園大学付属中学 高等学校 高橋校長	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校で作成している「いじめ防止基本方針」に沿って調査を行い、私学振興課と連携を図りながら報告し進める。</li> </ul>
----------------------------	---

【協議】

九州ルーテル学院大学 岩永教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>3割の児童生徒がいじめを受けても相談しないと結果に出ているが、話さないに対応するためにできることはないか、ご意見を伺いたい。</li> </ul>
自然を愛する会 齊藤理事長	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学が小中学校と連携し、学生を活用することは有効だと考えるが、連携の際に時期とスケジュールが合わないことが多いので、学生を活用できる仕組みを構築すべきではないか。</li> </ul>
九州ルーテル学院大学 岩永教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生を指導する立場として、学生を活用する方法は何かあるか。</li> </ul>
日本グループ・ダイナミックス学会 八ツ塚理事	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学側も授業の確保が必要であり、7月下旬まで試験等を行う必要がある。熊本大学が熊本市教育委員会と連携して行った「ユア・フレンド事業」は、不登校生徒への対応として行った連携事業として一定の成果をあげている取組ではないか。授業の一環としてイベントへの参加を今後考えることも必要ではないか。</li> </ul>
九州ルーテル学院大学 岩永教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学生は、貴重な人材であるので、是非とも活用を考える必要があると思う。</li> </ul>
熊本市立 帯山小学校 西方校長	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本大学とルーテル大学と連携して、学生に年間を通して支援をしてもらっている。児童が大学生に相談していることから課題解決につながったケースもある。</li> </ul>
熊本県PTA 連合会 田中会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学と連携して学生と関係を構築することは大切であるが、PTA連合会に登録している学校は地方の学校が多く、交通費を含めた費用などの問題があるので、行政の支援が必要である。社会教育課に事業があるが時期が合わず活用しづらい面がある。</li> </ul>
九州ルーテル学院大学 岩永教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学は、市内に集中しているので地方にとっては学生の活用はハードルが高いと思うが、何か手立てはないか。</li> </ul>
社会教育課 福永課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>本課の事業は、ボランティア派遣事業でニーズに応じたチームを派遣しているが、日程については難しい。</li> </ul>
自然を愛する会 齊藤理事長	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育に関わる学生だけでなく、人と関わることに興味がある学生を活用することができれば人材の確保はできるのではないか。また、私学は私学ならではの取組があるのではないか。</li> </ul>

<p>熊本学園大 学付属中学 高等学校 高橋校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A役員等が学校と保護者の間に入って対応を相談してもらうなど、話し合いをして解決した事例もあった。</li> </ul>
<p>私立中学高 等学校保護 者会 堀会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私学保護者会としては、職員自身が卒業生であることが多いので、自分の学生の時期の問題と重ねて指導してもらっているので、学校独自の問題に対してきめ細やかに対応していただいていると認識している。</li> </ul>
<p>熊本県医師 会 峯 苔理事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護などの分野でも地域の取組に高校生の参加を促している事例もあり、いじめ問題でも高校生のボランティア参加など検討できないか。</li> </ul>
<p>九州ルーテ ル学院大学 岩永教授</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校の取組等について、何かあれば伺いたい。</li> </ul>
<p>熊本県立 熊本高等学 校 田中校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害者と加害者が入れ替わるケースもあり、集団生活の中でどのような人間関係を学ぶかが大事であり、学校内だけでなく地域の中でも学ぶ機会が必要だと認識して指導している。</li> </ul>
<p>九州ルーテ ル学院大学 岩永教授</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間になりましたので、以上で協議を終わります。提供いただいた情報や意見を関係団体で共有していただき、活用願いたい。</li> <li>・ 活発なご意見ありがとうございました。</li> </ul>